

私が、直接関わったのは8年間と僅かな時間でありましたが、心より感謝申し上げます。

過去に、ある人生の先輩より、関わる相手に感謝をすることはもちろん大事だが、関わる相手に感謝される人物になってくださいとアドバイスをいただいたことがあります。これからも、市民の皆様からいただく要望や願いをしっかりと聞き、それらをかなえ、感謝される会派であり、その一員でありたいと思っております。

米田市長は、4月以降もういらっしゃらないですが、感謝されるお仕事ができるよう、私も、また戻ってきたいと思えます。ありがとうございました。

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（保坂 悟君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

関連質問なしと認めます。

ここで、暫時休憩いたします。

再開を11時5分といたします。

〈午前10時55分 休憩〉

〈午前11時05分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。〔7番 渡辺栄一君登壇〕

○7番（渡辺栄一君）

おはようございます。渡辺栄一でございます。

これからも、糸魚川市内での暮らしやすさ、住みやすさを思い描きながら、市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。よろしく願いいたします。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、（仮称）駅北子育て支援複合施設整備の状況について。

糸魚川市は、（仮称）「駅北子育て支援複合施設」の整備計画期間の延長を検討することを決めた。同施設の建設予定地に建つ旧東北電力ビルの解体工事の入札不調が5回続き、令和10年4月の供用開始を目指していたが、1年先の同11年4月に延ばして整備スケジュールの見直しを行う

ことについて伺う。

- (1) 解体工事の5回目の入札も不調であったというが、要因は何であると捉えているか。
- (2) 今後の対応として、入札方式などの見直しのため、年度内の解体工事の発注手続を停止し、解体工事における入札方式等を検討した後、7年度に発注手続を再開予定とあるが、どのようなことが課題として生じてくるのか。
- (3) 平成28年12月の大火後、8年余りが経過しているが、当時の要望と今とでは、同じと捉えているか。
- (4) 対象となる市内の子供は、どの地域が特に多いのか。
- (5) 既存施設にある遊具等では、何が不十分なのか。
- (6) 今年1月の「広報いといがわ」には、提案価格17億4,185万円（設計・建設費12億4,185万円、運営費5億円（10年分））と記載してあるが、この金額を超えてしまうようなことはないのか。

2、当市への企業誘致を含む就労支援策について。

本市は、まちづくりの基本指針として、第3次糸魚川市総合計画（令和4年度から令和10年度）を策定し、本計画では、「健康」「地域経済」「教育」を重点項目として、特に力を入れて取り組むとあるが、地域内経済の要である就労支援策について伺います。

- (1) 市内の移住定住には、新たな働く場（企業誘致）が必要と捉えるが、現状の動向をどのように分析しているか。
- (2) 若者、女性、高齢者など、就労を希望される方への有効な支援策として何が必要と考えるか。
- (3) 既存企業の設備投資への支援策として、どのような施策があるのか。
- (4) 今月22日に高校生向けに市内の企業を体感できる見学ツアーを実施したとあり、また、来月1日にも22日とは異なる企業での企画が予定されているが、どのような内容か伺います。

3、米田市政について。

長年にわたり市政に精励された米田市長に対し、感謝の意を表するとともに総括を伺う。

- (1) これまでで苦勞された施策や印象に残る市政上の出来事は何か。
- (2) 公約などに鑑み、誇りに思えたり、達成感、成就感のある市政上の成果・施策はどのようなものか。
- (3) 心残りのある課題はどのようなものがあるか。
- (4) 本市の課題は、一にも二にも「街おこし」と考えるが、新市長にどのような引継ぎ・助言を考えているか。

4、当市の諸課題について。

- (1) 大雪のため、住民税非課税世帯での屋根雪の除雪などに要する費用の軽減策はどのようなものがあるのか。また、県道沿いで空き家・倉庫などがある理由で、路上の除排雪が困難となり、道幅が狭くなり危険な箇所が発生するため、改善を望むが、いかがか。
- (2) 市内中学校で発生したいじめ事案が、長期化している理由は何か。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、今後の入札に影響することから、公表している情報以外についてお答えすることはできません。

2 点目につきましては施設の整備スケジュールに変更が生じることから、整備期間の短縮などが課題であると考えております。

3 点目につきましては、復興まちづくり計画におけるにぎわいの拠点施設から様々な議論を経て、現在の施設整備を進めております。子育て世代からは、屋内遊戯場に対して平成 29 年度と 4 年度のアンケートでも変わらず多くの要望をいただいております。

4 点目につきましては、2 年度の国勢調査における年少人口としては糸魚川地域が最も多い 2,555 人となっております。

5 点目につきましては、雪や雨、酷暑等の天候に左右されずに子供と遊べる場、また、緩やかに交流が生まれる親子の居場所が求められている状況であります。

6 点目につきましては、経費上限額を示した基本協定を締結し、その額で整備を進めることといたしております。整備年度が遅れた場合には、整備費や運営費への影響が生じるおそれがあることから、整備事業者とも適宜協議をしながら、公共工事の品質確保の促進に関する法律等にのっとり、適正な施設整備を進めてまいります。

2 点目の 1 点目につきましては、仕事は重要な要素であると認識いたしております。

2 点目につきましては、企業の紹介や相談の機会の確保、資格取得の支援などが考えられます。

3 点目につきましては、固定資産税の課税免除等を実施いたしております。

4 点目につきましては、高校生やその保護者が、2 回にわたり市内 4 社の各企業を見学や事業説明を受けるものであります。市内企業に直接触れて、将来の職業選択の参考にさせていただきたいと考えております。

3 番目につきましては、市町合併から 5 期 20 年間、市長として、新市の一体感の醸成を図るとともに、新市建設計画及び総合計画に基づき、施策を推進してまいりました。

市長として残された任期を全力で全うするとともに、新しい市政においても、市民の幸せに向けて、全力で取り組んでいただけるものと期待いたしております。

4 番目の 1 点目につきましては、自力で除雪等が困難な高齢者や障害者世帯等を対象とした屋根雪除雪等の費用助成事業を実施いたしております。

2 点目につきましては、関係者が多く、調査に時間がかかったこと、また、現在、追加調査を行っているため、時間を要しているものと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入らせていただきます。

順番を変えて、4番目の質問についてから始めたいと思っておりますので、お願いいたします。

まず、今回大雪であったということで、それで住民税の非課税世帯の方ですね、これ経費の一部を助成するとして、山間部での助成限度額というものが8万4,000円というふうに聞いておるんですけども、この金額というものが十分な金額なのか、実際どのぐらいお客さんというか、山間部の方で請求書が来るのか、そこら辺を教えていただきたいのと、言い方を変えれば、請け負った事業者さんにとって、労力に見合う金額なんではないかということなんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山岸福祉事務所長。〔福祉事務所長 山岸千奈美君登壇〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

おはようございます。

お答えいたします。

まず、山間部の方がどれぐらい申請があるかというところなんですけれども、年度によって違うというところがございますけれども、約半数近くの方が山間部というふうに、例年なっております。

そして、金額についてということで、山間部の上限額が今8万4,000円を基準にしておりますが、それが労力に見合っているかというところがございますが、こちらにつきましても、例年ですね、毎年、積雪量ということがその年、年で変わってきますので、積雪量の基準を設けておまして、その基準以上になった場合に、金額を1.5倍にするというような対応を令和3年から運用しているところでございます。さらにそれ以上になるという場合には、災害救助法の適用ということで、また上限額も上がっていくということで、段階的となっておりますので、そういった意味では、積雪量によって見合った対応をしているというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

今のお答えですとね、例えば非課税世帯の方が、例えばお金が足りなくて、ちゅうちょしている場合というんでしょうかね、そういった場合は、ある程度、救済処置というんでしょうか、そういったものは見ていただけるものなんでしょうか。どうしてもちょっと、それ以上お金かかってしまうと、なかなか頼みたくても頼めないというふうなことにもなってしまいますので、そこら辺は、割とケース・バイ・ケースというんでしょうか、やっただけのものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山岸福祉事務所長。〔福祉事務所長 山岸千奈美君登壇〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

お答えいたします。

ケース・バイ・ケースということはございまして、あくまでも積雪の量、基準に応じて限度額が決まってくるということになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

やはりこういう方というとな変な言い方ですけど、やはり高齢者の方がやっぱり多いんじゃないかなというふうには思うんですね。しかも年金暮らしというんでしょうかね、そういった部分の方も多いんじゃないかと思えますんで、そういった方だと、やっぱりどうしても理屈抜きで助けてあげたいというのは、私、思うんですけど、そこら辺はやっぱりもう、あくまでも積雪量で、もう一切そういうのを認めませんというのは、割と冷たい行政というわけじゃないんですけども、そういうふうに映ってしまうんですけども、そこら辺はいかがなんでしょうかね、やっぱり行政サービスじゃないけれども、やっぱり臨機応変に、そんな積雪でそんなものかと思うんですけどね。そこら辺どうでしょうかね、再度いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺市民部長。〔市民部長 渡辺 忍君登壇〕

○市民部長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

市としてはやはり補助金という形を取らせていただいておりますので、基準を設けさせていただいておりますし、100%出すというのは、ほかの市民に対して平等であるか公平であるかという部分では、やはり考えなきゃいけない部分だと思っております。

ただ、この補助金につきましては、雪の量、家の大きさ等もございまして、上限を設けてございますので、ある程度の範囲では、この金額で収まるものというふうにご考えておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

先ほど災害救助法というようなことが、ワードが出てまいりましたけれども、これは実施した場合、屋根雪の除雪なんかの費用であるとか、そういったものは国とか県とかで負担されるというようなことは自分も承知はしてはるんですけども、今回、上越市だとか妙高市などでは、地区によって適用されたというような報道もあったんですけども、今回、糸魚川市内の場合でも、連日積雪で3メートル近く積雪があった地区もあったと思うんですけども、どういう場合にこの法律が適用さ

れるものなんでしょうか。そこら辺、ちょっともう少し詳しく教えていただきたいんですけど。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

市内では、積雪観測をしております。ある一定基準に達しますと、県のほうに申請いたしまして、災害救助法が適用になるといったところなんです。それが糸魚川市全体の積雪量になるのか、旧糸魚川市、また、旧能生町、旧青海町で適用というところで、基準に達すれば申請して、災害救助法が適用になるといったところなんです。

それで、今回につきましては、基準に達していないというところなんです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね。かなり降ったようなイメージがあるんですけども、達してないということなんですね。

すいません、ちょっと確認なんですけども、例えば同じ住まいの方で、2回、3回以降も利用される場合は、それは適用されるのか、適用といいますか申請しても大丈夫なのか。

それと、制度というそのものを知らないで事後申告しても大丈夫なものなのか、再度確認ということをお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

山岸福祉事務所長。〔福祉事務所長 山岸千奈美君登壇〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

お答えいたします。

まずは、上限額であれば、回数については何回でも依頼できるという仕組みとなっております。

すいません、もう一つが……。

〔「事後申告ですね、制度を知らないで事後申告」と呼ぶ者あり〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

失礼いたしました。事後申告というところですね。事後の申告につきましては、基本的には事前申告という形になっておりますが、状況を勘案して、場合によっては事後というところでも対応するようにしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

ありがとうございます。今後とも、こちらに関しては、よろしくお願ひいたします。

それでは、その下の県道沿いの件なんですけども、県道は、管轄外と言われれば、それまでなんですけども、現状この空き家だとか倉庫等の理由で、前の道路に雪の塊があつたりとか道路が狭くなっているところは、車の往来というのが非常にこの危険だということで、作業が終わった除雪車が、狭くなった側道をタイヤ等で踏み潰してもらえんもんかという、そういう要望があるんですけど、そういったことは可能なものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今ほど議員さん言われたのは、県道の除雪の件かと思われるんですけども、やはり今回の大雪で、道幅は、おのおの確保したんですけど、やはり一気に降ったもので、なかなか2車線確保できないところとかあつたりした箇所もありました。それで、やはり優先度といいますか、何ていうかバス路線とか、あと公共施設に近い路線というのは、やはり速やかに排雪とか車線確保する必要があるかと思ひますので、そういったところは優先に排雪させていただきますし、あと、県道でありますので、そういったご要望ありましたら、私どものほうから、また県のほうにつなぐように周知するよう心がけたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね、これからもまだ雪が降ると思ひれますし、来年度以降も降るわけでございますので、継続してお願いしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、（2）番の市内のいじめに関してであります。

これは、令和5年の7月14日にいじめ問題専門委員会による調査委員会を立ち上げて、調査を開始したとあります。約1年後に結果報告が上がってきたんですけども、報告書に不明な点が多いということで、この保護者からさらなる調査の要望があつたということで、なんだかんだいって、もう2年2か月以上経過しているというようなことなんですけども、これ当初は、令和6年の7月の31日の総務文教常任委員会の提出資料なんかにもよりますと、そのときは、いじめに該当するんだけれども、いずれもいじめ防止対策推進法にある重大事態には該当しないというような、たしかそんなような報告だったというふうに思ってるんですけども、その後どういって、まだ続いているのかなということなんですけども、そこら辺はどうなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

市長答弁にもありましたように、関係生徒が17名おりました、聞き取り、それに時間がかかりました。それから、調査報告書の作成についても、聞き取りの内容が多かったもので、時間がかかったということです。

また、教育委員会のほうからは、このいじめ問題専門委員会が、いわゆる第三者による調査によりますので、いついつまでに報告書をまとめてくれとかいうような指示はできません。始まる前には、可能な限り早期に調査を終了してほしい。終了といいますか調査してほしいというお話は要望として上げましたが、期限を設けて調査することは、こちらからお願いできないということで、時間がかかってしまいました。

関係する生徒には、大変つらい思いを長い間させてしまって、申し訳なく思っております。今、追加調査委員による調査を行っておりますが、それについても期限を設けることはできないんですが、要望として調査を始める前に調査委員のほうに、可能な限り早く調査を進めてほしいということをお願いしてあります。この3月には、調査報告結果をいただく予定であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

先般、この総務文教常任委員会のメンバー等で、被害者の会の保護者の方と会って、話を聞く機会がありました。内容的には、かなりひどいというんでしょうかね、私も、えっと思うようなものだったんですけども、この教育の場にいる先生方は、こういったこの事案をどう受け止めたのか、そこら辺をどう考えてらっしゃいますかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

教育委員会、それから教職員、大変重く受け止めております。このようなことが二度と起こらないように、再発防止を教育委員会、それから学校のほうと連携しながら、努めているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

ふだんであれば、もう楽しいとまでは言えないかもしれませんが、普通に高校生活を送っているんでしょうけれども、やはりこの傷つきやすい年齢だというふうに思いますし、被害者の方はやっぱり困っていると思います。これから進学とか就職等、将来があるわけがございますので、そういったことを考えるとどう思われるかということなんですけど、そこら辺を再度お願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

進学に際して不安が残らないように、不安がないように、高校と連携しながら情報共有して、子供たちに対応しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

こないだ、こないだといいますかお会いした被害者の会の保護者の方は、やっぱり謝ってほしいということと、やはり真実が知りたいという、この2点なんですよね。なので、謝って、すぐ勘弁してもらえるようなものではないかもしれませんが、やはり誠心誠意おわびをするしかないと思うんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

何度か保護者に対する説明の会で、教育長をはじめ、謝罪はしております。

ただ、加害者が分からないもので、加害者からの謝罪というものが、まだできておりません。調査委員会の目的は、事実究明を努力するのですが、そこを第一の目的とはせず、再発防止策を調査の結果、示していただくというのが、調査員の大きな目的であり、捜査権等はありませんので、なかなか加害者を特定することが難しいということで、謝罪のほうはなかなか難しい状況になっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

今そういうようなことを聞きましたんで、私もそういうもんのかなというふうにちょっと、何ていうんですかね、残念というか、それが限界のかなというふうに今感じました。今後は、タブレット紛失時のマニュアル作成であるとか、やっぱり危機意識というんでしょうかね、そういったものを持って対応してもらいたいと思いますし、先ほど再発防止というような言葉も出ましたし、そして何よりも早く解決してほしいというふうに思っております。

4番目のその他の課題については、これでやめたいと思っております。

それでは、1番目に戻りまして、（仮称）駅北子育て支援複合施設整備の状況について、再質問させていただきます。

4回目のときの不調の要因は、様々な理由が考えられるけれども、明確にお答えできるものではないというような回答でした。今回もそんなような回答なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほども市長答弁にございましたとおり、今後の入札に影響いたしますので公表している情報以外について、お答えすることはできません。大変申し訳ございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうすると、なかなかこう言われないとなかなか審議もできないし、非常に困ってしまうんですよ。だから、例えば解体工事費の上限が今9,800万円となっておるんですけど、それで収まらないというのであれば、その理由づけとして、その資材費が上がるとか、人件費も上がっているからというようなことで、そうかなというようなことになるんですけど、それをお答えできないと言われちゃうと、何も今度判断をしようもないし、非常に何か議会はどうしたらいいのかということになるんですけど、そこら辺は、これでよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今、解体工事費ということで予算のほうは今年度、補正予算ということで9,800万円のほうを議会のほうでと認めていただきました。それと、昨年度、実施しております解体の設計等に基づきまして、今、市のほうで、これまで入札を進めてきたというふうに思っております。

結果として、不調という形で終わっておりますので、そういった状況を踏まえ、今後の対策をしっかり検討して、新年度で対応してまいりたいというところでございますので、よろしく願いいたしたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

再確認なんですけども、この同施設整備費は、6年度現在14億3,151万4,000円で、財源の半分は国庫補助金7億1,575万7,000円を充当ということで、今後、国へ事業計画期間の延長に伴う補助金の延長を認めてもらえるよう対応するとしているが、これは見通しは立ったということでもよろしいですか。先ほどそんな感じの答弁だったんですけど、確認です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

2月5日の総務文教常任委員会では、国のほうに補助金についての計画期間の延長をということで検討してまいりますということで、ご説明させていただきました。その後、国のほうに協議もさせていただく中で、内諾をいただいているといったような状況でございますので、先ほど市長答弁ございましたけれども、今後の事務的な処理のほうを進めてまいるといところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

あと、例えばこの入札方式を検討した後というふうに言われておるんですけども、この入札方式というのは、どのようなものをいうんでしょうかね、変えるにしても、何か中身を変えるわけでもないでしょうし、どういった方式になるんでしょうか。それも答えられないということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

これまで、過去5回実施しておりました入札方式が制限付一般競争入札という形で、入札を応札していただいたという形式でございます。そういったところをもう一度見直しをしまして、多様な入札制度でございます。こういった不調が続いているという案件もございますので、そういったところを、先進地の事例を照らし合わせながら、そういった新たな、既存の中での入札制度を採用して、検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

今でも何かうまくいってないのに、うまくやれるもんのかなと、ちょっと素人的にそんなふう思うんですけども。これは、これでやめたいと思います。

あと3番目ですね、先ほど市長の答弁では、平成29年と令和4年度のときのアンケートで要望が多かったというようなことで、そんな変わってないんだというようなことだったんですけども。でもやっぱり当時の要望というわけじゃないんですけども、これだけお金がかかる事業でございますし、やっぱり市民の皆さんとのニーズというんでしょうかね、やっぱり合わなくなってるんじゃないかと思うんですよね。世の中もそうですし、経済状況もそうですので、やっぱり生き物と一緒に、やっぱりこう変わっていくもんだというふうに思うんですよね。だから、これだけお金のかかる高い買物でございますので、そこら辺がちょっと行政の皆さんと何かずれてるような気もするんですけど、再度いかがでしょうかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

子育て世代の要望といたしましては、これまでも平成29年度・令和4年度にアンケートを行っておりますけれども、屋内遊戯施設を求める声というのは、継続してあるというふうに思っております。少子化が進む中におきまして、やはり以前と違いまして近所に同じような形の子育て世代がないという中で、親の不安感ですとか孤立感というのは非常に高まっているといったところがございます。そういった中で、この施設におきましても、そういった子育ての不安を解消できるような形の、子育て世代の居心地のいい居場所をつくりたいということで、この計画は進めさせていただいておるといふふうに思っておりますので、そのような考え方で、今後も進めていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

説明は、それでよろしいんだろうとは思んですけども、私はどうもそんなふうにも捉えないところもあるので、それはちょっとのみにはできないというふうに思います。

あと、この（4）番目ですね、この対象となる市内の子供はどの地域に多いのかということで、先ほど市長の答弁では、糸魚川地区で2,555人というようなことでしたけれども、私、先般、市民課にお願いして、この年齢別人口集計というものをいただきました。これ、一番最新のもので、基準日が、令和7年1月1日のものなんですけれども、それによりますと、やはり200名を超えている地区、これは、対象となるゼロ歳から12歳まで、小学校6年生までということで、かなりマックスの数なんですけども、多い地区は、やはり順番に田沢地区、上刈、大和川、能生ですね、これが200名を超えていると。その後、青海地区、100人台、まあ170とか、そういったところは青海地区だとか横町、東寺町、南寺町の順で、お膝元である大町だとか、あるいは、これ本町というんでしょうかね、本町というんでしょうか、そちらには、それぞれ20人いない状態だということなんですけども、そういったことをご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、実際のこの施設の計画している周辺では、お子さんの数が少なくなっている状況というものも認識しております。

ただ、この施設につきましては、立地適正化計画等に基づきまして、そういった中心市街地に人

を呼び戻すといったような機能も含まれているというふうに考えておりますので、そういった点も踏まえながら、子育て世代がそういった中心市街地に関われる、交流できるような意味というところもあるというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

先ほど地域整備計画というふうに、私、今聞いたんですけども、そのように聞こえたんですけど、この地域整備計画というのは、そんなに大事なもの、大事なものというのは変な言い方ですけども、そんなに何ていうんですかね、これを糧にやっていかなきゃいけないというものなんでしょうか。今の現状は、非常に子供も減っているというのは、皆さん周知のとおりでございますし、そうすると、なかなか今から11年前の平成26年の人口が約4万6,000人、出生数が約290人、これを今現在キープしているというのであれば、やっぱりこれは市長、造りましょうよということになるかと思うんですけど、今このときと、もう11年前ともう勢いがもう全然違っているんですよ。なので、このまま進めていったとしても、確かにできると思うんですけど、やろうとしてるんだからできるんだろと思うんですけど、本当に子供なき複合施設になってしまうし、実際、車で移動しないと、この目的地には行けないというようなことになるんで、非常にこのまま進めていって、本当に大丈夫なんでしょうかという、この2日間いろいろ一般質問の答弁なんか聞きますと、行政の方も費用対効果というワードを何回も使ってるんですよ。だから、非常に費用対効果というのであれば、非常にどうなんだろうかという、かえって素朴な疑問も出てくるんですよ。糸魚川市はお金があって、使い道もないから、もう造りましょうよというんだったら、それはそれでいいと思うんですけども、ただ、なかなか、ない袖は振れませんので、だんだんそういう部分では人口も減り、税収も減り、建物だけは残り、でも建物造ったけども、最後は壊さなきゃいけない。使い道や、もしくはまた何か改装するにしても、何か目的あって造るというのは、またお金かかるわけですよ。そういうことになると、非常に税金の使い道というのは、やっぱりこれから先考えていかないと、やはり一家の家計と一緒にございますので、あんまり大判、大判というわけじゃないですけど、そうやれるもんじゃないかなと思うんですよ。そこら辺はいかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

行政というのは、やはり市民に対して非常にいろんな面に関わっていかなくちゃいけない部分であるわけでございます。特に基礎自治体の市町村というのは、市民生活と一体となって、生活しながら市民の皆様方と、この市政を預かっておりますし、将来にわたって、続けていくまちづくりをしていかなくちゃいけないと思っております。やはり現実の問題、そして、これから将来のこの問題についてしっかりと取り組まなくちゃいけない中であるわけでありまして。やはり今、その1番の

課題は人口減少、そして少子化ということにつきましては、やはり少子化はやはり将来において非常に大きな影響が及ぼすものがございますので、子育てというところにおいては、ある程度力を入れていかなくちやいけないんだろうと思っております。増えていくことが1番理想であるわけですが、現在住んでおる子供たちに対して、やはりいろいろな施設を造りながら子育てをしていかなくちやいけない部分があるかと思っております。国の支援をいただく中で、今こういった施設を造るんだという形で計画をしてきたわけでございますので、それをやはり今、計画どおり進めさせていただきたいということでお願いいたしている状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

保育園等にある遊具だとか、ジオパルの中にああいう施設では、やっぱり物足りないんでしょうかね。やっぱりもうちょっと既存施設を活用するといいますかね、そういうことで、やはり今は様子を見たほうが、賢明ではないかというふうに私は思うんです。子育て世代の方には、何か違う部分でも、また手当てを厚くしていったほうが、私は、今は様子を見ていったほうがいいんじゃないかと思うんですけど、再度いかがでしょう、市長。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

何度も私もお答えさせていただいておりますし、また今、渡辺議員のほうも同じようなご意見をいただいておりますのでございまして、もう私の言わんとすることはお分かりかと思っておるわけですが、やはり物事はチャンスというものがございます。機会というものがございます。そういった機会を逃すと、なかなか巡り合わせないのではないかな。特に財政力が弱ければ弱いほど、そういったチャンスというのはなかなか巡ってこない状況でございますので、私はやはりこういったチャンスというのは、長きにわたって皆さんからお望みいただいておりますので、ぜひともその整備をさせていただきたいということでお願いしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね。大変糸魚川市は、広報にもあるとおり、たくさんいろんな施設もあるんでね、だから本当に豪華、これ以上造ってどうすんだろうというような、そういうふうに私は危惧するところでもあります。くどいようですけれども、もう少し考えていったほうが、私はいいいんじゃないかというふうに思います。

では次に、2番目の当市への企業誘致を含む就労支援策について伺います。

企業の拠点誘致として、新たな雇用の場の確保と産業活動の活発化を図るため、市内3か所の産

業団地等への企業誘致活動を展開するほか、本社機能等の移転調査、姫川港の機能を生かしたりサイクル企業の誘致など、新たな産業分野に対応した誘致活動を推進しますとありますが、これは、どこまで進んでおるのでしょうか、ここに書いてございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えします。

今ほどの文言につきましては、総合計画のほうに記載のほうさせていただいているものでございます。企業誘致につきましては、まず、企業団地につきまして、東京事務所等と連携しまして、PRのほうを図っております。

また、市内には、IT企業等もございます。そういった企業とも連携しまして、口コミではないですが、そういったところも糸魚川市というところがあるということをお伝えさせていただいておりますし、市内の大手企業におかれましては、企業説明会等で、また、市内の企業はこのようなものがあるということで関東圏、また関西圏に情報共有していただいているというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね。大変文言は、このとおりになんだろうと思うんですけど、なかなかスピード感がないというんでしょうかね、1年間に何社来て、何社糸魚川に来てくれたかという、そういう目標設定もないので、ただこう書いてあるだけで、やったんだけど来ませんでしたわとか、非常に曖昧で終わっているようなんですけど、私が聞きたいのは、何社来ているかと。例えば去年は何社来たかとか、あるいは今年は何社目標だとか、そういったものを出していかないと、ただ、ずるずる、ずるずるこの計画だけ書いただけというような感じになってしまうので、やはりそれだと高校を卒業したり進学したりして、なかなか糸魚川には、よく言われる、働く場所がないとよく言われるんですけども、そういった解決にはならないと思うんですけど、そこら辺は、再度いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えします。

今ほど議員おっしゃるように、市のほうでは目標数値というものは持っておりません。

ただ、やはり時代の衰勢によりまして、事業所の進出、また撤退等も起こるといふふうに思っております。そのような中で、やはり市としましても、雇用の創出の確保ということで各種事業に取り組んでおりますので、引き続き尽力していきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね、なかなかはっきりした答えではないようだったんですけども、ちょっと残念に思いました。

（2）番ですね。これ若者、女性、高齢者等なんですけど、先ほど市長答弁では、資格を取るところ等で、そういった助成というようなことが答弁であったというふうに理解はしておるんですけども、どうでしょうかね。やっぱりなんだかんだ言っても、なかなか行政では入れないと思うんですけども、待遇面かなんて思ったりもするんですけども、女性であれば、その子育てしやすい勤務環境を整えるとか、そうすればこの会社の事業展開やサービスの開発向上に生かせると思うんですけど、再度そこら辺どうでしょうかね、女性に関しては、どういったことを考えてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

やはり雇用環境につきましては、国のほうも課題としまして捉えておりますので、各種制度等もあると思います。その中で、女性活躍推進にすれば、えるぼしという認定もございますし、子育てサポートにつきましては、くるみんという認定もございます。そのような認定制度を市内の企業も広めていけるように、啓蒙活動のほうを続けていきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね、やはり企業のイメージアップにもつながると思いますので、やはり後方支援といいますか、やっていただきたいと思います。

あと、4番目であります。今月22日に高校生向けに市内企業を体感できる見学ツアーがあったということなんですけれども、このツアーに何名参加されて、それで反響というものはどうだったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えします。

今年度、企業見学バスツアーにつきましては2日間予定しておりましたが、今ほどご質問の22日の企業見学バスツアーにつきましては、申込者数が5人に満たなかったため、実施のほうは中止のほうさせていただいております。その次の1日につきましては、一応今のところ8人の方が申

し込まれておりますので、開催する予定にはしております。

じゃ、どのような理由で、このバスツアーに申し込まれてるかといいますと、やはり市内企業を理解したいという高校生の方、また、親御さんの方が申し込まれたものというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

少しちょっと今聞いて残念だったんですけども、私も昨年、3月2日にバスツアーといいますか、企業さん回らせていただきました。ふだんなかなか、外からやっぱり入りにくいですし、こういった機会に、じかに会社の職員の方から説明を受けて、この会社はこういうものを作ってるんだというようなことで大変参考になったといいますかね、非常にいい会社だなとか、やっぱり受け入れてくれるという会社は、本当にいい会社だなと思っておるんですけどね。ちょっとね、今5人に満たなかったのが中止というのちょっと残念だったんですけど、でも何ていうんですかね、これからも続けていってもらいたいと思うし、やはりなかなかすぐ就職というのね、やっぱり抵抗もあるんで、やっぱりいろいろ見学なり、見て、いろいろ地元にはこういう企業があるというようなことを肌で知っていただきたいと思っておりますので、来年度もよろしく願いいたします。

それでは、最後、米田市長の件に関してであります。

市長は、先ほど何か、私、4項目聞いたんですけど、ちょろっとで終わったみたいな感じなんで非常に寂しい感じはしたんですけども、そんなに思い入れがないのかなとか、でもいろいろこの20年あったんだろうなというふうには思うんですけども、そこら辺は米田市長、いかがでしょうか、こういう機会でしか私も聞けないもので、よろしく願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

この任期中のやはり1番の大きな事柄というのは、やはり新市のスタートでございますので、この3自治体の一体感というのは、1番私は大事に捉えさせていただきました。そしてその本となっております新市建設計画、私も、合併前の合併協議会の中にも加えさせていただいたわけでございまして、その合併のときの新市建設計画をしっかりと進めていくことと、やはり一体感というのは、私の1番の使命だということの中で取り組んでまいりました。その後、いろんなものがあることはご承知かと思いますが、それはそれで最前線の取組をさせていただいたと思います。

○議長（保坂 悟君）

すいません、昼食時限になるんですけども、このまま質問を続けさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

私、米田市長とは、4年間ですけれどもこういった形で相對しておるんですけども、実は私、令和元年のとき、6月の4日、手帳にも書いてあるんですけども、米田市長、実は東京の山手線に乗ってたんですね。それで時間が9時20分頃だと思います。偶然ですね、私も浜松町で乗って、それで市長さんはどこで乗られたのか分かんないんですけどちょうどいらっしやって、よほど声かけようかと思ったんですけども、なかなか勇気もなくて、ちょっと声はかけられなかったということで。東京駅でいなくなったというか、降りられたと思う。そのときは、恐らくもう北陸新幹線もできてまして、恐らく最終の20時12分の東京駅で乗りますと、糸魚川駅には22時30分に着く最後の新幹線だったと思うんですけども、乗られたんだと思うんですけどね。国への陳情か何かに来られたんかななんて思いながら、そう思ったりもしたんですけども。

米田市長の、私、公約は、大事に持っておるんですね。こちらですね。それで、やっぱりこの中では、やっぱり私、一番気にしてるのは、やっぱり専門学校ですね。教育、未来、人材の確保、市内に看護養成学校、もしくは看護師養成所の設立を目指すと書いてあるんですね。この目指すという言葉が非常にいい言葉で、目指したけど駄目だというか、非常にうまい表現の言葉だと思ってるんですけども。単なる、でも思いつきで入れたと思えませんし、せめてこの機会に、この構想だけでも教えてほしいんですよ。これが、糸魚川市立なのか、それとも私立なのか、そこら辺ですね、駄目だったんだろうけども、こういった構想でもってやりたかったんだということを、最後お聞かせいただきたいんですけども、お願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり地域医療の中において、看護師の果たす役割というのは非常に大きいものがございます。それはやはり糸魚川の看護師さんが少ないという状況があることと、そして、市内の子供さんたちが、生徒たちが看護師を目指すという方々もおられるわけでありますので、そういった方々がやはり一番理想は、地元で学ぶことが大事、地元の、そして看護師になっていただくことが大事ということがベースにございました。そして、いろんなタイプがございます。そういった教育施設の中で何ができるのかというのは、やはり私はあまり詳しくなかったものですから、それに目指して調査・研究をしていきたい。そして、できるならばどのような形が、やはり糸魚川総合病院、厚生連の病院と一体となってやっていくことが一番いいのかなというような形の中で、ある程度頭の中で描いて、これは何も文字や、私は報告はしてない部分でございますが、そのようなものを根底に置きながら、やはり教育機関、看護師養成教育機関と調査をさせていただいて、進めてくる中において、非常に、当然スタート時点からハードルの高いものだとは分かっておりましたが、かなりハードルが高いというのを理解もさせていただきました。

しかし、まだまだやはりどういう形ならできるのかというのも研究課題にさせていただいております。サテライトスクールであったり、サテライト教室であったり、いろいろ考えられるものがないのかというのも、まだ残っている状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

以上で終わります。ありがとうございました。

○議長（保坂 悟君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

ここで昼食時限のため、休憩といたします。

再開を1時10分といたします。

〈午後0時05分 休憩〉

〈午後1時10分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、阿部裕和議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

阿部議員。〔2番 阿部裕和君登壇〕

○2番（阿部裕和君）

みらい創造クラブ、阿部裕和でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、みらいを見据えた行財政改革の実施状況と今後の取組について。

(1) 財政健全化に向けた中長期の計画について伺います。

(2) 市が保有する施設の様々な情報をまとめた施設カルテには「あり方の検討」を進めなければならない施設が数多く記されています。検討状況を伺います。

(3) 保育園の民営化及び適正配置については検討が進められていますが、小学校についての適正配置の検討はされているか、検討状況と併せて市としての構想を伺います。

(4) 補助金カルテを作成し、その目的及び費用対効果の確認作業を進めているところと思いますが、今までの取組の成果を伺います。

(5) 市外からの利用者が多い施設について、市内住民と市外利用者の料金設定を変更することが必要だと考えます。今後の対応について、お考えを伺います。

(6) 若手職員も積極的に市政運営に関わり、若い視点からの意見を反映させ、事業展開させていく必要があると考えます。市政運営において、若手職員の意見やアイデアがどの程度政策や事業に反映されているか伺います。

2、観光振興について。

(1) 糸魚川市に訪れる観光客の主な目的や興味について、どのように把握されているか伺いま